

令和8年6月末の交通事故の特徴

発生件数	8, 426件（－153件）
死者数	44人（＋3人）
負傷者数	10, 688人（－176人）
飲酒事故	40件（－7件）

【発生件数】

- 発生件数は8, 426件（－153件）で横ばい
- 高齢者関連事故は2, 935件（－102件）で微減
- 1当高齢運転者の交通事故は2, 158件（－17件）で横ばい
- 歩行者関連事故は1, 177件（＋113件）で約1割増加
- こども関連事故は286件（－16件）で約1割減少

【死者数】

- 死者数は、44人（＋3人）で約1割増加
- 筑豊地区が7人（＋4人）と大きく増加
- 筑後地区が5人（－7人）と約6割減少
- 高齢者の死者数は20人（－3人）で全死者数の約5割を占め、うち75歳以上（後期高齢者）が14人（－1人）と高齢者の7割を占める
- 1当高齢運転者による死者数は9人（＋3人）で5割増加
- 歩行中死者数は16人（－5人）で全死者数の約4割を占める

【飲酒運転事故関係】

- 発生件数は40件（－7件）と約1割減少
- 筑豊地区が6件（＋1件）と2割増加、筑後地区が5件（＋2件）と約7割増加
- 酒気帯び0. 25mg/L以上が27件（－4件）と最多
- 6～8時が9件（－1件）と最多

【自転車関連事故】

- 自転車関連事故は1, 196件（－108件）と約1割減少
- 福岡地区が756件（－41件）で約6割を占める
- 交差点が745件（－112件）で約6割を占める
- 10歳代が349件（－39件）で約3割を占める
- 飲酒運転の自転車（第1当事者・第2当事者）の事故は3件（－4件）と約6割減少
- ヘルメット着用率は、高校生が37. 8%と高く、成人等が11. 8%と低い

注1（ ）の数値は、前年同期比

注2 飲酒運転事故は、一般原付以上の運転者（第1当事者）が飲酒していた交通事故